**第３章　計画の目指す姿、基本的方向**

１　2025年、2040年を見据えた計画の策定、目指す姿

　(1)　 2025年、2040年を見据えた現況・課題

・後期高齢者の増加に伴う、要介護認定者、認知症高齢者の増加

・一人暮らし高齢者世帯等の増加に伴う、高齢者の状態やニーズに応じた住まいの在り方と支援体制の確保

・生産年齢人口の減少、働き手の減少による介護保険サービス提供体制の確保

・介護サービス利用者の増加による介護給付費の増加と第1号被保険者数（65歳以上）の減少による介護保険料の増嵩

　(2)　目指す姿

―第８期計画基本方針―

ひとをつくり、ひとの力をつなぎ　地域包括ケアシステムを推進する地域力を高める

　　　　　　　　　　　　　　2025年、2040年までの見通し

2015

第７期計画

2018～2020

（H30～R2）

第６期計画

2015～2017

（H27～H29）

第８期計画

2021～2023

（R3～R5）

団塊の世代が75歳

団塊ジュニア

世代が65歳

2025　　　　　　　　2040

これからの視点（2040年に向けた取組）

・介護予防を推進し、元気な高齢者を増やす

・「共生」と「予防」を車の両輪とした認知症施策の推進

・在宅生活を継続するためのサポート体制の強化

・安心して暮らせる住まいの確保

・介護人材の確保と資質の向上

団塊の世代が65歳

―第７期計画基本方針―

地域包括ケアシステムを支える**人づくり**を推進し、高齢者が生き生きと自立して暮らせるまちを目指す

―第６期計画基本方針―

高齢者が健やかで生きがいを持ち、安心して暮らせる地域包括ケア体制の実現に向けて**仕組みづくり**を進める

（3）「これからの視点（2040年に向けた取組）」に基づく第８期計画の目指す姿

1. 基本方針

「ひとをつくり、ひとの力をつなぎ　地域包括ケアシステムを推進する地域力を高める」

・　サポート体制を一層強化するため、第７期計画から進める「地域で支える人づくり」を継続し、一人ひとりの市民、事業者の個性や能力といった「ひとの力」を引き出す。

・　地域住民、NPO、民間事業者など地域で支える人材と介護を支える専門職など多様なひとが連携し、介護予防の活動や生活支援のためのサポート体制など地域の実情に応じた課題や特性をとらえ、地域の自主性や主体性に基づく取組みを進めていく。

○ひとのつながり（連携）

地域のひと　　　＋　　　専門職のひと　　　＋　　　　行　　政

・高齢者一人ひとりの状況やニーズに応じたサービス提供やサポート

・支援体制の強化やしくみづくり、基盤整備

・地域の福祉課題を自らの課題「我が事」と感じる意識醸成

・自主性、主体性に基づく取組み

【第８期計画で進める地域包括ケアシステムのイメージ】

日常生活圏域Ｃ

日常生活圏域Ａ

日常生活圏域Ｂ

好事例の共有など

課題解決

課題解決

介護

予防

課題解決

好事例を参考に、各地域の

活動を高める

好事例を参考に、

各地域の活動を

高める

生活

支援

生活

支援

介護

予防

介護

予防

生活

支援

【市全域で整備する標準サービス】　住まい、介護、医療、予防、生活支援

1. 重点事業について

目指す姿

・地域を支える元気な高齢者を増やす。

　　・要支援・要介護状態になっても、重度化を防止するよう早期発見・早期対応に努める。

　　　⇒結果として介護給付費の増加、被保険者の保険料を抑制する。



【第８期計画での目指す姿のイメージ】